

観光社会資本の事例

テーマ	中海・宍道湖圏域の夢をつなぐ江島大橋
【施設の状況写真】	
	
<p>江島大橋全景。全長は1446.2m、橋の中央径間(橋の中央の橋脚と橋脚の間)は250m、最も高いところは、水面から44.7mとなる。橋上からは、眼下に広がる中海や大根島、境港市が一望でき、天気の良い日は遠く大山まで見ることが出来る。なお、橋上に県境があり、写真に向かって右側が鳥取県、左側が島根県となる。</p>	
【施設の利用写真】	
	
<p>江島大橋中央付近より。天気の良い日は、遠く大山を望むことが出来る。壮大な景色を求めて来訪する観光客の姿もある。また、江島大橋をコースとしたウォークラリーを地元観光施設間で行われている。</p>	<p>江島大橋を利用する観光バス。それまで既存のルートであった中浦水門管理橋は、重量制限があり、観光客がバスから降りて橋を歩いたり、バスが迂回したりしていた。</p>
【観光資源としての利用状況】	
<p>鳥取県境港市と、島根県松江市とを結ぶ江島大橋の開通を契機に、中海・宍道湖圏域の観光施設が注目を浴びています。それまで、既存のルートは中浦水門管理橋でしたが、大型バスは重量制限で通行できないなどにより、同圏域の一体的な観光連携は十分に行えませんでした。江島大橋開通によって交通アクセスの向上が図られ、圏域一体となった観光ツアーが設定されるようになりました。また、県境を越えて同圏域の観光施設が連携をとり、江島大橋を挟んで観光施設間でのスタンプラリーやウォークラリーも行われています。</p>	

テーマ	中海・宍道湖圏域の夢をつなぐ江島大橋
<p>【社会資本の基礎データ】</p> <p>○名称 江島大橋</p> <p>○所在地 鳥取県境港市渡町～島根県松江市八束町</p> <p>○事業名 境港臨港道路江島幹線(国直轄事業)</p> <p>○事業主体 国土交通省中国地方整備局境港湾・空港整備事務所</p> <p>○事業期間 平成9年～平成16年</p>	
<p>【社会資本の役割・効果】</p> <p>江島大橋は、鳥取県境港市渡町と島根県松江市八束町を結ぶ延長 1446.2m の臨港道路(船舶貨物の運搬等を目的とした、埠頭から一般道路までを繋ぐ道路)です。鳥取・島根両県の各埠頭間及び各工業団地を連結し、利便性を高め、物資の円滑な流通を確保して輸送コスト削減を図るとともに、境港と背後圏域との物流機能の強化及び広域ネットワークの構築が図られています。同地域の既存のルートは中浦水門管理橋(現在は通行止め)でしたが、車両重量制限(14トンは通行不可)により迂回を余儀なくされたり、船舶航行時にははね橋が上がって交通渋滞が発生するといったことがありましたが、江島大橋の開通によりこれらは解消されています。</p>	
<p>【位置図】</p>  <p>The left map shows a detailed view of the bridge crossing the Ise Channel (中海) between Sakai City (境港市) and Matsuyama City (松江市). Key features include the bridge itself, the Ise Channel, and the surrounding land areas. The right map shows the broader regional context, including the Ise Channel, Sakai Bay (美保湾), and the surrounding prefectures of Tottori (鳥取県) and Shimane (島根県). Key features include the bridge, the Ise Channel, Sakai Bay, and the surrounding land areas.</p>	
<p>【関連ホームページ】 (境港湾・空港整備事務所) http://www.pa.cgr.mlit.go.jp/sakai/ (境港管理組合) http://www.sakai-port.com/ (境港市観光協会) http://www.sakaiminato.net/</p>	

